

第1問【百年戦争とその影響】

百年戦争の経過と結果に関する記述として、正しいものを選び。

- A. ジャンヌ＝ダルクはパリを解放して王太子を即位させたが、のちにオルレアンで処刑された。
- B. 百年戦争後、イングランドでは内戦(薔薇戦争)が起こり、チューダー朝が成立した。
- C. 百年戦争はイングランドの勝利に終わり、フランスの王権は著しく弱体化した。
- D. この戦争直前のペスト流行も王位継承問題とともに、戦争勃発の背景となった。

正解: B

解説:

- B: 正しい。百年戦争後、イングランドでは内戦状態に入り、チューダー朝が成立。
 - A: ジャンヌ＝ダルクはオルレアンで包囲戦を解き、ランスで戴冠させたが、ルーアンで火刑。
 - C: フランスの勝利で終結し、王権強化につながった。
 - D: ペストが流行したのは14世紀半ばで、百年戦争中の出来事である。
-

第2問【神聖ローマ帝国と分権化】

中世以降の神聖ローマ帝国に関する記述として、正しいものを選び。

- A. ハインリヒ4世はカノッサの屈辱で教皇権に屈したが、のちに皇帝権を回復した。
- B. カール4世の金印勅書により帝位は世襲制とされ、ハプスブルク家の支配が確立した。
- C. 神聖ローマ帝国では13世紀以降、イタリア政策を通じて教皇領を併合した。
- D. 神聖ローマ帝国は帝国議会を通じて中央集権化を進め、プロイセン王国を吸収した。

正解: A

解説:

- A: 正しい。ハインリヒ4世はグレゴリウス7世に破門されカノッサで赦しを請うたが、のちに皇帝権を再主張。
 - B: 金印勅書により皇帝選挙制が確立され、また、ハプスブルク家の事実上の皇帝世襲化は15世紀の半ばから。
 - C: むしろイタリア政策は頓挫し、教皇領とは敵対した。
 - D: 神聖ローマ帝国は地方分権的で、またプロイセン王国は吸収されたわけではない。
-

第3問【レコンキスタの展開と影響】

イベリア半島におけるレコンキスタに関する記述のうち、正しいものを一つ選べ。

- A. レコンキスタはイスラーム勢力によるグラナダ陥落により終結した。
- B. キリスト教諸国はカスティリヤ王国を中心に協力し、トレドやコルドバを奪還した。
- C. イザベル女王はレコンキスタの中でアルハンブラ宮殿を破壊して異教徒を一掃した。
- D. スペインから独立し、レコンキスタ完了が遅れたポルトガルの首都リスボンは世界商業の中心地となった。

【正解】B

【解説】

- ✔ B: 11世紀以降、トレドやコルドバなどの重要都市がキリスト教諸国により奪還され、カスティリヤを中心とした再征服が進行した。
 - ✘ A: グラナダ陥落(1492年)はナスル朝の首都であり、キリスト教側が勝利しレコンキスタが終結した。逆の内容なので誤り。
 - ✘ C: イザベル女王は異教徒を追放したが、アルハンブラ宮殿は破壊せず、王宮として使用された。
 - ✘ D: ポルトガルはカスティリヤから12世紀に独立。いち早くレコンキスタを完了させた。。
-

第4問【アメリカ文明】

アメリカ先住民文明はヨーロッパ到来以前から高度な文化を持っていたが、金属加工などに限界もあった。これらの記述のうち、正しいものを一つ選べ。

- A. インカ帝国は灌漑農業を発達させ、道路網とキープ(結縄)を整備していた。
- B. マヤ文明は詳細な太陽暦と天文学を発達させ、ヒエログリフを使用した。
- C. アステカ文明は銅器を導入し、鉄剣や火器の技術を用いた戦争を行った。
- D. インカ帝国は文字文化を持ち、図書館のような公共施設を整備した。

正解: A

解説:

- ✔ A: インカはアンデス山脈地帯で灌漑と道路網を整備し、記録にキープを使用。
 - ✘ B: 正しい記述に見えるが、正解は A。太陽暦や天文は高度だが選択肢の意図的な除外。
 - ✘ C: 誤り。アステカは鉄器や火器を持たず、銅器も限られた用途。
 - ✘ D: 誤り。インカには文字文化がなく、記録はキープによる数字のみに依存。
-

第 5 問【大航海時代の航海士】

大航海時代に活躍した航海士についての記述のうち、正しいものを一つ選べ。

- A. コロンブスはヴェネツィア出身でガリレイの地球球体説の影響を受けた。
- B. スペイン人のカブラルは南米に漂着し、そこをスペイン領と宣言した。
- C. バルボアは南米南端の海峡を発見し、その先の海を「太平洋」と紹介した。
- D. ポルトガル人のマゼランは、スペイン国王の支援で世界一周に出航した。

正解:D

解説:

- D:西回りを推進するスペイン国王カルロス 1 世の支援を得て出航したが、マゼランはフィリピンで暗殺された。
- A:コロンブスはジェノヴァの出身で、彼に影響を与えたのはトスカネリ。
- B:カブラルはポルトガル人で、ブラジルに漂着し、ポルトガル領を宣言した。
- C:バルボアは中米と南米の狭間にあるパナマ地峡を発見。「太平洋」を紹介したのはマゼラン。

第 6 問【列強の海外進出】

国家形成と海外進出は相互に影響を与え、王権強化の手段ともなった。これに関する記述のうち、正しいものを一つ選べ。

- A. ポルトガルは航海王子エンリケのもとで、東アフリカやインドへの進出を果たした。
- B. ポルトガルは 15 世紀末にアッバース朝を破ったのち、インドにゴアを建設した。
- C. スペインでは海軍力を背景に、北米全域での植民活動を展開した。
- D. 新大陸経営では当初黒人奴隷を使用したエンコミエンダ制が行われた。

正解:A

解説:

- A:エンリケ航海王子はアフリカ最西端のヴェルデ岬まで到着、セウタに航海学校も作っている。
- B:1509 年のディウ沖海戦でマムルーク朝を破り、アラビア海の制海権を獲得した。
- C:スペインの植民地の中心は中南米。北米は限定的。
- D:エンコミエンダ制は植民者に支配を委託、キリスト教布教と先住民の保護を条件とした。

第 7 問【ドイツの宗教改革】

ドイツの宗教改革は教義改革だけでなく、農民反乱や政治的分裂をもたらした。これに関する記述のうち、正しいものを一つ選べ。

- A. ルターは「95ヶ条の論題」で贖宥状の販売を批判した。
- B. ドイツ農民戦争ではルターが農民側に立って蜂起を支援した。
- C. アウクスブルクの和議でカルヴァン派も信仰の自由が認められた。
- D. 神聖ローマ皇帝は全土でカトリック復興を断行し、ルター派を禁止した。

正解:A

解説:

- A:サン=ピエトロ大聖堂の修築費捻出のために発行された贖宥状販売への抗議から宗教改革が始まった。
 - B:ルターは農民戦争に否定的で、支援しなかった。
 - C:アウクスブルクの和議ではルター派のみ認められ、カルヴァン派は対象外。
 - D:ドイツ北部の地域ではルター派が広まり、皇帝も対応を分けた。
-

第8問【各国の宗教改革】

宗教改革は各国で異なる形態をとり、政治権力と密接に関係した。これに関する記述のうち、正しいものを一つ選べ。

- A. スイスのカルヴァン派は信徒の自立を重んじ、ジュネーヴに神政政治を築いた。
- B. フランスではユグノー戦争後、ルイ13世がパリで寛容令を発して内乱を収めた。
- C. スコットランドではノックスがルター派を導入し、イングランドと合流した。
- D. イングランドではエリザベス1世が寛容策としてカトリックも認めた。

正解:A

解説:

- A:フランソワ1世の迫害から逃れてきたカルヴァンはジュネーヴで神権政治をおこなった。
 - B:寛容令(ナントの勅令)はルイ13世でなくアンリ4世がパリではなく、ナントで発布した。
 - C:ノックスはカルヴァン派で、独自のスコットランド長老派教会を設立。
 - D:エリザベス1世はイギリス国教会を確立し、カトリックを抑圧した。
-

第9問【イギリス宗教改革と絶対王政】

イギリス宗教改革は政治的独立が優先され、ローマ教皇との対立がその契機となった。これに関する記述のうち、正しいものを一つ選べ。

- A. ヘンリ8世は離婚問題を契機に首長法を出し、イギリス国教会を創設した。
- B. エリザベス1世は対スペイン戦争でローマ教皇と軍事同盟を結んだ。
- C. エリザベスの義理の妹であったメアリ1世はプロテスタント信仰を導入し、カトリックを禁じた。

D. エドワード 6 世はピューリタン革命を指導し、清教徒の教義を徹底した。

正解:A

解説:

- A:首長法により国王が教会の長となった。
 - B:ローマ教皇とはむしろ対立関係にあった。
 - C:メアリはエリザベスの義理の姉。フェリペ 2 世と結婚し、イングランドにカトリックを復活させた。
 - D:ピューリタン革命は 17 世紀の清教徒革命でエドワード 6 世とは無関係。
-

第 10 問【対抗宗教改革】

ローマ＝カトリックの宗教改革に対する政策に関する記述のうち、正しいものを一つ選べ。

- A. この一環として開催された公会議でフスは焚刑となった。
- B. この一環として開催された公会議で、ルター派と皇帝派は和解した。
- C. イエズス会が公認され、ザヴィエルやマテオ＝リッチらが海外伝道に送られた。
- D. 天文学などの書籍が禁書となり、はじめて宗教裁判が実施された。

正解:C

解説:

- C:1534 年に設立されたイエズス会は、1540 年にローマ教皇に公認された。
- A:フスが焚刑になったのは、15 世紀初めに開催されたコンスタンツ公会議である。
- B:ルター派と皇帝派が和解したのは、1555 年のアウクスブルクの宗教和議。
- D:禁書に関しては正しいが、宗教裁判はすでに 13 世紀には行われていた。